

Let's WKB



新企画 令和7年度 コミスク参観日

7月7日(月)本校がコミュニティ・スクールとなって初めての企画である「コミスク参観日」を開催しました。

これまでの学校運営協議会の中で、ことあるごとに話題に上がっていたのが「学校を知ってもらう必要がある」「学校の知名度を上げる」ということでした。

そこで、保護者を対象とした「参観日」ではなく、学校の関係者の方を対象とした「参観日」を開催することにしました。せっかくの機会ですので、学校運営協議会委員だけでなく、近隣の学校の校長先生、バス停清掃や防犯教室などでお世話になっている地域の皆様にお声掛けしたところ、学校運営協議会委員の他に4名の方が参加してくださいました。

【授業参観・施設見学】



【井戸端会議「本校の授業を御覧になっていかがでしたか」】



まず上がった感想が「丁寧な授業をしている」ということ、そして「先生と児童生徒の関係がやさしい」「質問しやすい環境」「ICT機器を使いこなしている」などが上がりました。

そして話題に上がったことは「少人数」です。メリットとして「一人一人個に寄り添って」ということが上げられる一方で、対話や意見のすり合わせなど、ある程度の人数が必要とされることについては、この少人数がデメリットに働くという意見がありました。「集団だから学べること」があると考え、近隣の学校との連携も一つの解決策になるという意見もありました。

また、実際に子どもたちが学んでいる姿を見ていただき、私たちが地域にできることはないかと問いかけたところ、「チラシ配り」や「清掃」などニーズがあることが確認できました。

今回はざっくばらんに感じたこと、考えたことを話していただきました。この後、学校のコミスク担当で協議し、次回(7月28日)の全校教職員と学校運営協議会委員等との拡大井戸端会議で、掘り下げたいと思っています。

今回、本校学校運営協議会の趣旨に賛同いただき、お忙しいところコミスク参観日に出席くださいました皆様に改めて感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

裏面も御覧ください。

本校の授業はいかがですか。

- 授業**
- 子どもに合わせて
ex 英語 引き出す言葉かけ
 - コミュニケーションをとりながら
子どもらしい、楽しい
あそびの充足
 - ・授業を組み立てる... 大変
 - ・バス停清掃、自分たちの責任を
持つ
 - ・授業を組み立てる... 大変
 - ・授業を組み立てる... 大変
- 掲示物
見えることに意味あり
- ・タブレット端末の活用
 - ・教材の工夫
 - ・環境 ○ → 人の中が学びの場
少人数でメリハリ
 - ・近隣の小、利用の大人
若葉を会場にイベント... 知っています
- ねらい等わかりやすく提示
- 先生との関係性
 - マンツーマン → 集団での学び
学習
 - ・バス停清掃 @ くり返し → 生徒の自信へ
 - ・交番のチラシ配布 地域の方が見られる
 - ・ワークショップ → ごみ拾い
 - ・地域の草取り
 - ・造道盆踊り → 本校?
 - ・造道盆踊り → 本校?
 - ・造道盆踊り → 本校?

「いいね」

先生と児童生徒の関係性が良好であり、丁寧な授業が展開されている。また、ICT 機器を存分に活用している。

少人数であるため、一人一人に寄り添った授業である。

「もう少しがんばって」

人との関わりから学ぶことが多いことを考えると、本校は少人数である。近隣の学校との連携を考えてみたい。

大人の活用も考えよう。

「地域に貢献！」

- ・ショッピングセンターでのチラシ配り
- ・市内観光施設の清掃
- ・町内の草取り
- ・地域の祭りへの参加



仲間が増えたバス停清掃



6月27日(金)今年度3回目のバス停清掃を行いました。これまで、本校生徒と青森市企業局交通部の皆さん、NPO 法人夢の里の利用者さんと指導者さん、そして造道町会の皆さんと一緒にやってきた活動ですが、今回新たに

造道郵便局の相沢局長さん他2名の方々が清掃活動に参加してくださいました。

一緒に働く仲間が増えて、私たちのことを知ってくださる方が増えて、どんどん温かい輪が広がっているような気がしています。

今後の活動予定(前期分)

7月18日(金)

8月29日(金)

9月26日(金)

いずれも 学校集合 **10:45**

または 現地集合 **10:50** です。

どうぞ よろしくお願いたします。

Gallery & Cafe さゝらさんから 竹を頂きました。



小学部図画工作で作った七夕飾りを飾るために「笹がほしい」と学校運営協議会委員に相談したところ、蒔苗委員が仲立ちしてください、Gallery & Cafe さゝらさんから竹を頂戴することになりました。

自分たちの作った飾りを竹に飾ると、七夕気分がより一層盛り上がります。

さゝらさん、蒔苗委員ありがとうございました。学習活動が充実しました。